

小松市 中学生サミット 2017

平成29年 6月 6日(火) 第1回 実行委員会
 平成29年 7月27日(木) 第2回 実行委員会
 平成29年 9月26日(月) 保護者実行委員会
 平成29年 10月13日(金) 第3回 実行委員会
 平成29年 10月14日(土) サミット



概要

現在、インターネットの急速な普及に伴い、生活が便利になる一方で、問題も起こっています。スマートフォンやタブレット、ゲーム機などからいつでもどこでも簡単にインターネットにつながることができ、誰もが様々な情報を取得、発信できるようになりました。しかし、このような環境に中学生、小学生がいきなり飛び込んでしまうのでしょうか。軽率な行為から、ネット上での誹謗中傷を受けたり、ネットから抜け出せなくなるネット中毒・依存症に陥る子どもも少なくありません。また、インターネットがいじめの温床になっている点も見逃せません。

このようなネット問題を、小松市では二年前、安宅中学校の生徒会が中心となり、市内全小中学生へアンケートを実施し結果について話し合うことにしました。昨年度は、市内十校の中学生が実行委員となり中学生サミットを企画運営しました。今年度は、昨年度課題とした各学年の参加、各学校によるサミット通信の発行、小学校への出張授業など、さらにネット問題と向き合ってきました。

小松市教育委員会では、中学生自らが自分たちの問題として捉え、自分たちで解決策を考え、実行していくという考えのもと、中学生サミットを開催することとしました。

小松市PTA連合会新世代委員会としては、中学生の活動を支援し、保護者の意識も高めようと、小松市教育委員会と連携し、ネットに関する取り組みを推進してきました。これまで中学生が頑張ってきた取り組みと、保護者のアンケート結果や分析から見てきたものを紹介いたします。

小松市立学校PTA連合会 新世代委員会

中学生の活動

概要

ネット問題について考えようと、中学校10校の、3年生(各校2名)と2年生(各校1名)と1年生(各校1名)の計40名が実行委員となって、中学生サミットを企画運営しました。昨年同様、**兵庫県立大学の竹内和雄准教授**にアドバイザーをお願いしました。

今年は新たに1年生がメンバーに加わり、第2回実行委員会では、松東中学校及び併設する陸習館を利用し、市内10校の生徒が寝食を共にする1泊2日の合宿形式で行ない交流を深めました。夏休みの楽しい思い出となりました。

第1回 実行委員会

まずはお互いの緊張をほぐすため、大学生サポーターのリードでアイスブレイクを行い盛り上がりしました。

昨年のサミットを振り返りながら、今年のメンバーが改めてネットの良いところ・悪いところを分類し発表しました。昨年から引き継いだ課題である、「ネットを考える日」の制定について話し合い、「サミット通信」の発行や、各校が独自で取り組みを行うことが話し合われました。



第2回 実行委員会

生徒向けアンケートの集約結果について話し合いました。

ネット三か条は昨年のものを今年もそのまま使用することにしました。

ネット三か条をテーマとした動画CM制作と、コンクールに向けたポスターおよびLINEスタンプ募集も実施しました。夜の部では、教室から体育館に場所を移し、よりリラックスした中で考えを深めました。



中学生ネット三か条

【時間部門】

時計見て！ もう今日終わるよ 大丈夫？

【人間関係部門】

その言葉 相手の前でも 言えますか？

【危険防止部門】

ネットでの “この人いい人” それ本当？

小松市中学生サミットのあゆみ

面的な取り組みに終わらないよう、生徒の本音、自主性を尊重しながら、着実なステップアップを図って来ました。3年目の今年は、生徒自身が各学校において改善に向けた取り組みを実行し、改善を図ることに重点を置きました。

問題提起

実態把握・分析

改善に向けた取り組み

1年目

生徒の取り組み

- ・安宅中学校生徒会での初の取組み
- ・ネット問題について生徒が自治意識をもって自ら考える画期的取り組み

2年目

小松市中学校全体での取組みに発展

- ・ネットの良い点、悪い点の洗い出し
- ・全小中学校生徒にアンケート(ネット問題の実態を把握)
- ・中学生ネット三か条(標語)の策定
- ・ポスターコンクール、動画CMによる啓発活動
- ・パネルディスカッションを通じた意見交換

ネット社会の進展にともない、小中学生のネット利用に関して、禁止するのではなく、そのメリット・デメリット、特にその危険性を十分理解し、ルールとマナーを守って適切に利用することが重要と考えられるようになってきています。

3年目

・より多くの生徒に広めよう!

- ・中学1年生もサミットメンバーに
- ・「ネットを考える日」の策定
- ・「サミット通信」の発行
- ・「出前授業」(小学生に教える)
- ・「LINEスタンプ」の作成
- ・「サミット報告会」の開催

・より多くの保護者に広めよう!

- ・「ネット利用について親子でよく話し合い、親子がともにルールを守る姿勢が必要なのではないだろうか？」
- ・「中学生サミット」への保護者の観覧を呼び掛け
- ・PTA活動等を通じた保護者への普及・啓発

保護者・PTAの取り組み

・ネット問題に保護者も自ら取組もう!

- ・全小中学校保護者にアンケート(問題の実態を把握)
- ・保護者実行委員会の開催・討議
- ・「子どものネット利用時間と親のネット利用時間は大きく関連しているね!」
- ・リーフレットの作成・啓発活動
- ・ポスターの作成・企業等への掲示依頼

テレビ番組として放映されました!

放送日:平成29年12月17日(日)午前8時45分~8時40分
番組名:石川テレビ「ふれあい空間いしかわ」
タイトル:小松市中学生サミット ~ホットネット大作戦(小松市)

今年の中学生サミットのポイント

~ 改善に向けた取り組み ~

- ①「1年生も参加」(サミットメンバーに1年生も加わり、学校全体の取り組みを目指しました)
- ②「ネットを考える日」(毎月23日と定期テスト3日前からテスト終了日までは、ネットの使用は1時間まで)
- ③「サミット通信」(サミットに参加していない生徒に向けて情報発信)
- ④「出前授業」(中学生が小学生に向けて「ネットのコワさ」を教えます)

~ 親は何をなすべきか ~

・アンケート分析から、親のネット使用時間が長いほど、子のネット使用時間が長いなど、子どものネット行動と親のネット行動には相関関係があることが見えてきました。保護者実行委員会では、「子は親の鏡!」というまとめが得られました。子どものネット問題は親のネット問題であり、家庭環境の問題であり、親と子の家庭での話し合い・コミュニケーションや、親子揃ってのルール作り(押し付けではなく、親も子もルールを守る)が大切なのではないかと考えました。

~ 小松市PTA連合会(新世代委員会)の取り組み ~

中学生の自主的な活動である「中学生サミット」を、その自主性を尊重し見守りながら、小松市教育委員会と連携しながら、支援しています。中学生のこのような取り組みについて、保護者に周知を図り、ネット問題について親と子が共に取り組めるよう働きかけを行いたいと考えています。

【アンケート有効回答数】

児童生徒 5,785名(小学生:2,873名、中学生:2,912名)
保護者 4,391名(小学校:2,283名、中学校:2,108名)

アンケート結果

小学4年生~中学3年生までの生徒および保護者に対しアンケートを実施しました。結果の要約を紹介します。

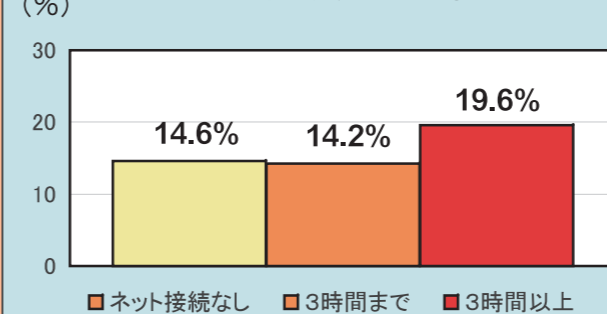
スマホ等でネット接続している児童生徒の割合は、小学4年で男子約78%、女子約68%、中学3年で男子約87%、女子約90%となります。男女とも9割近くの生徒がネット接続しており、ネットは既に日常生活の一部と言えます。

~ 3時間以上ネット接続している中学生の特徴 ~

- ★ 1分以内に返信する子の割合が高い
- ★ 有害サイトにアクセスしたことがある子の割合が高い
- ★ ネットで課金したことがある子の割合が高い
- ★ 面識のない人とLINEしたことがある子の割合が高い

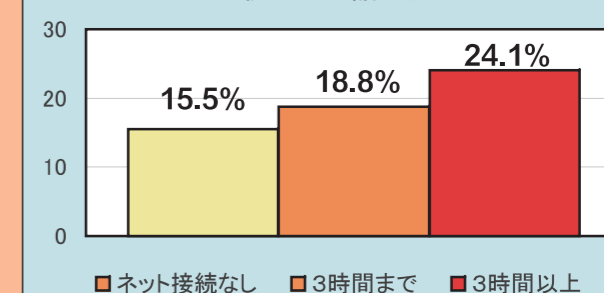
中学生アンケートの分析

よくイライラする子の割合



保護者アンケートの分析

親のスマホ等使用時間との関係性
~ 親子の会話が減った ~



中学生が考える3時間以上ネット接続している生徒の特徴

ゲームで勝つにはアイテムが必要だし、課金して手に入れよう!
誰でもいいし、SNSを通じて話したいな。
友だちからメッセージきてるすぐに返さなきゃ!
もうやめようと言えないな。

長時間使用

寝不足

ゲームやラインをやったら寝るのが遅くなってしまった。
ストレスをゲームで発散してるけど、朝起きるのがつらいな。

負の無限ループ

勉強に自信なし

昨日も遅くまでネットをやって勉強できなかった。
やってないと授業の内容が全くわからない。
イライラするな。

保護者が3時間以上ネット接続している家庭の特徴

アンケート結果からは、保護者自身のネット利用時間が子どものネット利用や生活に大きく関連していることが分かりました。保護者が1日に3時間以上ネットを使っている家庭には以下のような特徴が見られました。

- ☆ 子どもも使用時間は長い
- ☆ スマホ等のことで子どもが泣いたことがある割合が高い
- ☆ 親子げんかする割合が低い
- ☆ ネットに関するルールを守っている割合が低い
- ★ 親子の会話が減る
- ★ スマホ等を無理矢理取り上げたことがある割合が高い
- ★ 子どもがフィルタリング設定をしている割合が高い
- ★ 家庭にルールがある割合は低い

(☆は昨年度、★は今年度の保護者アンケート分析結果)

親の使用時間が長い場合、子どもの使用時間も長く、親の行動が子の行動に直接影響している傾向がうかがえます。保護者実行委員会では、「子は親の鏡」というまとめがありました。親子ともネットの長時間使用により、親子げんかを含めた、親子の会話・コミュニケーションが少なくなり、家庭環境の乱れにつながりやすい傾向がうかがえます。



小松市中学校10校の取り組み紹介

富田中学校 取り組み紹介

感想

- テスト3日前に放送
 - テスト3日前から使用時間/時間までと呼びかけ
- サミット通信の発行
- アンケート結果の報告
 - 呼びかけを守ることが出来たか

感想

- パネルディスカッションに参加し、他校と友達と意見交換が出来、大変良い経験になった。
- おんなでネットについて考えることがすごく楽しかった。

中学生サミット始めおもしろいぞ〜

坂津中学校 取り組み紹介

生徒会とクラスの代表者が集まってアンケートの結果をもとに校長先生ではインターネットをどのように利用するかを話し合った。

小松市では「テスト3日前はゲーム機を触らない」などのルールを決めて、校長で取り組んだ。

ネットの危険な点と便利な点をしっかりと話し合うことができた。

南部中の取り組み

目標は 小松市南十中星!

- 校内掲示用のポスター作成
- テスト期間中に「ネット利用を1時間以内」という内容を放送で呼びかけ
- テスト後「ネット利用を1時間以内」の取り組みに関するアンケート
 - 二学期期末のアンケート結果は中間よりよくなりました!
- 集会でアンケートの結果報告 + 中学生サミット本部の報告
 - 中間テスト時にアンケートの結果をまとめて親や先生では全校生徒が取り組みに賛同的になってくれたのが良かったです。

九内中学校 取り組み紹介

- 生徒会ラジオの利用
 - 給食の時間に、生徒会が学校のことと全校放送で話す、「生徒会ラジオ」でサミットの内容やネットを考える日を呼びかけました。
- 全校集会での発表
 - 自分でスライドをつくらせて発表しました。
- 稚松小学校との連携
 - ネット利用の仕方やサミットの内容をわかりやすく説明する動画と作成し、稚松小学校で流してもらった。

国府中学校

「国府のせい」(生徒集会)におけるアイスブレイク実施。

- 中学生サミットの活動報告、プレゼンテーション「インターネットの使い方」
- 国府ネットを守る取り組み

取り組み紹介あり

松東中学校

私たちは「ネットの上手な付き合い方」について

- 中学生サミットの「ネットを考える日」
- 松東中独自の「松東スタンダード」の2本柱で取り組みました。

- 「松東スタンダード」とは...!?
 - 今から4年前、全国的にネットでのいじめやトラブルが多発していたため当時の生徒会が12月の人権週間にあわせて作成したものです。
- 「ネットを考える日」の本当の目的は?
 - 1学期の取組: 放送や掲示で呼びかけた。→ 本当は任せておいた。反応がなかった。
 - 2学期の取組: 1学期の取組の反省から、直接伝えたい。各教室で呼びかけ。
 - 「ネットを考える日」前に個人目標、取り組み方をアンケート。
 - 取組後のアンケートで「ネット利用を減らした時間」と「ネット利用時間」を記入してもらった。結果が「事前より1人1人に減らせた」という結果が、また一つとわかりました。

【内容】

- ネットは2時間以上おこなわない
- ネットでの友達とのやりとりは夜9時まで
- ネット上のトラブルを現実にもこらさない

年間を通じて生徒への呼びかけを守れているかをアンケートで確認する他、小松市にも広がっています。

御幸中学校 学校での取り組み

- テスト3日前から当日までの給食時にネットへの接続を1時間以内にするよう呼びかけをしました。
- ネット三か条を広めるため生徒会前にポスターを張り全校集会で呼びかけをしました。

芦城中学校

取り組み紹介

- 定期テスト3日前の放送
 - 給食の時間に授業内容放送を呼びかけました。
- 独自のサミット新聞
 - 中学生サミットでの取り組み内容をまとめた新聞を発行しました。

結果

放送をかけたことにより、テスト3日前のスマホの利用率を減らした。学校独自のサミット新聞の発行により、中学生サミットの内容を多くの生徒にまで届けることができた。これからも継続していきたい。

松陽中学校の取り組み紹介

- 全校集会での「中学生サミット」の報告
 - 全校集会を利用して「中学生サミット」の活動や三か条について報告しました。
- ネット利用についてのアンケート
 - 松陽中学校内でネットについてのアンケートを行いました。この結果をもとに今年度は松陽サミットを実現させます!

感想

サミットに来た生徒だけでなく松陽生にもネットについて考えてもらえたので、よかったです。山口

全校集会で本題について、おもしろいので、ぜひ良い思い出を残したいです。松田

この機会に、友達と、色んな話をしてみたい。西牧

中海中の取り組み

学校保健委員会、保健委員会と共にインターネットの危険性について話し合いを行いました。

STOP! 5か条

- 夜10時以降はメール等を使用しない
- 1日のネットの使用時間は10時間を超えない

中海中の実態

現在では「あまり中海五か条が知られておらず、取り組みが不十分だ。」

これは正しいぞ... なんか知らないぞ!!

次世代に繋いでいこう!

インターネットを使うと、お金を感覚がうすくなるので、お金をつなきたいです。

・アルバイトについてもう一度考え直していきましょう。

「サミット通信」紹介 小松市中学校10校が月刊持ち回りで発行しています。

サミット通信 2017年6月号

今年「ネットを考える日」は...

6/6(水)、第一回小松市中学生サミット実行委員会が行われました!

今年「ネットを考える日」として小松市の全中学校で、定期テスト3日前から「ネット終了」までは、ネットの使用は、1時間まで決まりました!

第一回実行委員会のようす

第一回実行委員会では、各学校から代表4名が集まりグループに分かれて「インターネットの長所・短所」について話し合い発表しました。その呼びかけや放送のための活動についてたくさんの積極的な意見が出ました。

小松市ネット三か条を見直そう!!

1時間以内のネット利用は、今年CMで決まりました!!

ネット三か条

友達や目指すのは、ネットを禁止にすることはなく、中学生がネットを正しく活用できる仕組みにすることです。とても便利なものだからこそ、その長所と短所を理解し正しく使うことが大事です。

松東の山からこいちは

松東中学校のネットルール「松東スタンダード」を紹介します。4年前の生徒会メンバーで作ったもので年間を通して取り組んでいます。

- ネットは2時間以上おこなわない。
- ネットでの友達とのやりとりは夜9時までには終わる。
- ネット上のやりとりでトラブルを現実には持ちこまない。

みなさんの学校にはどんなルールがありますか?

もうすぐ期末テスト

さっそく第一回「ネットを考える日」です。この取り組みを成功させるために松東中では次のような取り組みを行う予定です。

忘れたい? 勉強しているか? 結果を7ア7化した。期間中毎日日報時は保護者にメール結果を7ア7化した。放送で呼びかけます。でお知らせします。知らせ、2学期の取り組みにつながります。

小松市中学生みんなで心を一つに取り組みよう!

発行者: 松東中学校

「LINEスタンプ」紹介

小松市中学生サミット2017 LINEスタンプ 「小松市教育研究センター」 www.hakusan.ed.jp/~kec



動画CM作成

生徒たち自らが監督・脚本を務め、ネット三か条をテーマとした動画CMを作成しました。どの動画CMも、ネット問題を的確に表現すると同時に、中学生の笑いのセンスにあふれており、短時間製作にも関わらず、おもしろく分かりやすい秀作となりました。PR動画として各小中学校へ配布する予定です。

テレビ局取材の様子



市PTA連合会(新世代委員会)の活動

保護者実行委員会

新世代委員会では、第1回、2回中学生の実行委員会にも参加し、父親グループとして生徒とともにネット問題について話し合い発表しました。

母親委員会とも連携し、保護者実行委員会を開催し、事前に集約したアンケートの分析結果をもとに、グループに分かれて話し合いました。親のネット行動と子のネット行動の関連性があることがわかり、「子は親の鏡！」というまとめが得られました。

アンケートにご協力いただいた保護者のみなさま、本当にありがとうございました！

第1回、2回中学生実行委員会に参加

保護者実行委員会



「子は親の鏡！」

保護者ネット三か条

【時間部問】

今日からは 家族一緒に 電源OFF

【人間関係部問】

画面より 子どもに目をかけ 声をかけ

【危険防止部問】

子どもの ネット友だち 知っていますか？



中学生サミット

ネットアンケート結果報告、ポスター・挿画・LINE スタンプの発表の後、各校の取り組みが発表されました。パネルディスカッションではパネリストの生徒から、友達の体験談や自分の正直な思いなど本音を聞くことができ、活発な意見交換が行われました。



生徒(実行委員)の感想

- ・活動を通して自分のネット利用について考え直し、みんなの意見を聞いて改善して行けたので良かったです。
- ・何よりもすごく楽しかった。他校の生徒とも交流でき、アイスブレイクなど盛り上がる企画もあって良かった。
- ・初めて参加したときは緊張して不安が大きかったけれど、動画作りを行なったりして行くうちに緊張なくなり、友達もできて「次のサミットはいつかな？」などと考えるようになり、中学生サミットが楽しくなりました。
- ・パネルディスカッションでは「中学生の生の声が聞きたい」という声に背中を押され、自分が思っているありのままの思いを伝えることができました。
- ・サミットに参加して、ネットに関するだけでなく、自分から積極的に発言する大切さを学びました。
- ・僕はいつもネットを3時間以上しているけど、体に悪影響があると言っていたので使用時間を減らそうと思いました。そしてその分勉強を頑張ろうと思いました。
- ・沢山の人が一つになって何かをするとすごく大きなものになり、多くの人の心を動かすことができると感じました。
- ・私はスマホもタブレットも持っていませんが、今の世の中は「ネット禁止」という考えはもう通用しません。私たちが必要なことは、よし悪しの区別を見分けること、自分が悪の方向に走らないことがポイントです。「家族でのネット利用のルールは、子どもだけが守るのではなく、大人も一緒に守ればルールを守る人が増える」という意見が特に印象に残りました。大人が守っていないのに子どもだけ守らないといけないというのは子どもも正直イヤな気持ちになると思います。

保護者の感想

- ・中学生がこれほど真剣に取り組んでいるとは知らなかった。すごく感動した。
 - ・各学校に持ち帰って広げてもらえれば、初めて成功と言える。今後の活動に期待したい。
 - ・子どもたちの自然な発言、本音が聞けて良かった。中学生全員に見せてあげたいと思いました。
 - ・各校PTAの委員会や保護者を巻き込んで、保護者がネット利用を考える機会を増やして行けば良いと思いました。
 - ・子どもに注意するだけでなく、本人(親)も注意しなければいけないと反省しました。
 - ・小学校に講演に行くというのはいいことだと思いました。
- こうした取り組みに参加することで、コミュニケーション力やプレゼン力が自然と身についていくと思います。

あとがき



中学生サミットを終えて、中学生は、このネット問題について今年で終わるのではなく、来年もさらに取り組んでいくことにしました。ただし、中学生サミットの最も重要な狙いは、単に「ネット問題の改善」という範囲に止まるものではありません。子どもたち自身が自治意識を持って自主的に自分たち自身の問題に取り組むこと、またその経験を通じて、様々な問題について自律的・主体的に考える力を身につけることに、最も重要な狙いがあります。

また中学生は本音で話してくれました。この中学生サミットの活動が、大人の押し付けではなく、子どもたちの自主性を尊重した上に成り立つものであるという点は、きわめて重要です。よくよく話を聞いてみると、子どもたちは意外と正しく考えしっかりしています。大人は子どもを信頼し、その声にまずは率直に十分に耳を傾け、子どもたちと共に歩む姿勢が必要なのではないでしょうか。

保護者アンケートの分析から、親のネット利用が子どものネット利用に影響していることが分かりました。子どものネット問題を突き詰めれば、家庭での親子のコミュニケーションの問題、家庭環境の問題に行き着くものと考えます。大人は今一度我が身を振り返る必要があります。子どもと積極的にコミュニケーションを図り、子どもの取り組みを応援し、子どもと共に考えていきましょう。